

# 大規模増殖場開発事業関連調査

—石持地区—

## (要 約)

三木 文興・沢田 満・足助 光久

石持地区における大規模増殖事業は、昭和50年～51年度に調査が行なわれ、昭和52年度より事業が実施され56年度で完了の予定となっている。

本事業は、コンブ、ウニを対象として、低利用砂礫地帯に石材及びコンクリート・ブロックを配置した増殖場を造成する構想で、各事業区画は初年度にウニ区、次年度にコンブ区を設置する設計となっている。

全体計画は当初の9事業区(1事業区の面積は560 m × 310 m)に2事業区(約300 m × 300 m)が追加となり合計11区画が造成予定となっており、本年度で7区画が完成する。

調査はこれら完成した事業区についてコンブの生育状況、ウニの生息、蛸集状況等について実施し、生産効果の把握、有効利用方法の検討を行なった。調査結果については別途報告する。

なお、現地調査に際して御協力戴いた東通村岩屋、野牛、石持及びむつ市関根漁業協同組合に対し厚くお礼申し上げます。



詳細は「大規模増殖場開発事業関連調査報告書 —石持地区— S.56 - №10」を参照されたい。